FIELD

HYPER COUNTER.

USER'S GUIDE

取扱説明書

はじめに

この度は、＜HYPER COUNTER＞をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、＜HYPER COUNTER＞本体の機能、基本配線、操作方法、及び使用上の注意について記載してあります。
車種別の配線は、別紙の車種対応表を参照して下さい。

＜HYPER COUNTER＞の機能を十分にご理解頂き、安全かつ効果的にご利用頂くために､ご使用の前に取扱説明書をよくお読みになり正しい使用法で使用して下さい。

本製品は、精密機器ですのでお取り扱いには十分ご注意下さい。

目　　次

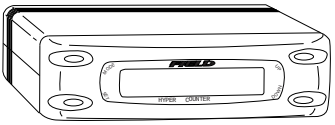
◇はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・表紙裏
◇パーツリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
◇本書中で使用されているマークの定義・・・・・・・・・・・・・　2
◇安全にご使用いただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

機能、設置、配線方法
◇各部名称と機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
◇機能と特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
◇配線方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
◇動作確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
◇初期設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
◇キャラクターモードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
◇ｒｐｍモードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
◇ＳＰＥＥＤモードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
◇０－４００ｍモードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
◇ストップウォッチモードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・２１
◇時計モードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
◇トリップモードの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
◇その他の機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４

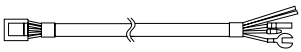
◇サービス（修理）を依頼される前に・・・・・・・・・・・・・・裏表紙裏
◇保証・アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙裏
◇保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

パーツリスト

お取り付けの前に、不足品がないかご確認下さい。

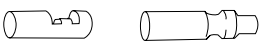


HYPER COUNTER本体（１台）

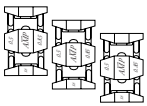


HYPER COUNTER専用ハーネス（１本）

ギボシ端子＆スリーブ　オス（各１個）



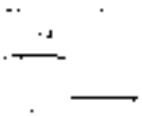
ギボシ端子＆スリーブ　メス（各１個）



エレクトロタップ（３個）

両面テープ（１枚）

取扱説明書（本書１冊）



車種対応表（１枚）

配線図（１枚）

本書中で使用されているマークの定義

財産や身体に重大な被害が発生する恐れのあるもの。

法律に違反する恐れがあるもの。

車両や製品の破損及び故障等を引き起こす恐れがあるもの。

本製品を使用するにあたって必ず知っておいて頂きたいこと。

安全にご使用いただくために

本体、ハーネスを取り付ける際、ハンドルやシフトレバー、ペダル、その他運転の妨げになる所への取り付けは、おやめ下さい。事故の原因となり大変危険です。

運転者が運転中に本製品の操作を行うことは絶対にしないで下さい。大変危険です。

本製品の分解や改造は、絶対にしないで下さい。故障や事故の原因となります。お客様が分解や改造を行った場合、保証期間内であっても無償修理を行えなくなります。

本書裏表紙の製品保証書には、販売店名及び指定事項をご記入の上、大切に保管して下さい。
修理の際には、保証書（本書）を必ず添付して下さい。記入もれや販売店の記入がないと有償となる場合があります。

本体に強い衝撃を与えないで下さい。取り付け時等の落下にはご注意下さい。

本体を直射日光の当たる場所や熱のこもる場所、寒暖の激しいヒーターやエアコン等の吹き出し口の近くに設置しないで下さい。ケースの変色、変形、製品の誤動作、故障等の原因となります。また、ケースの通気口部分をふさがないようにして下さい。

本体の清掃には、乾いた柔らかい布等をご使用下さい。アルコールや有機溶剤、中性洗剤等をご使用になりますと、ケースの変色、変形、製品の誤動作、故障等の原因となります。

本製品に故障又は異常が生じた場合には、ただちに使用を中止し販売店又は当社までご連絡下さい。

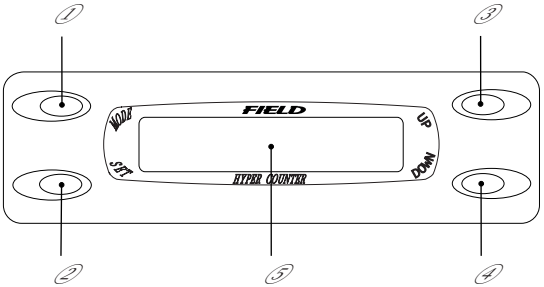
商品の外観、仕様、価格等は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

本製品を使用しての事故や車輌故障、破損、違法行為等については、当社では一切責任を負いません。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承下さい。

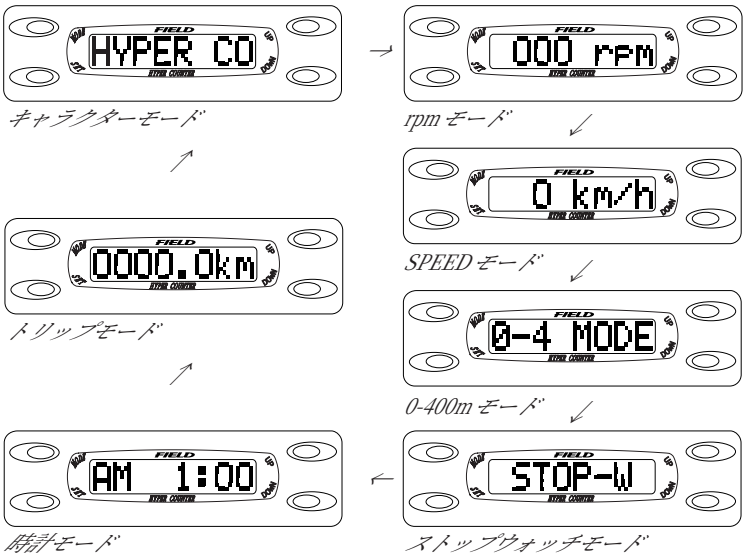
各部名称と機能

コントロール部



㈱モードスイッチ
スイッチの押している時間（短く押す・長く押す・押し続ける）によって、モード選択や、画面の背景色変更等を行います。

☆短く押す（約 0.5 秒以内）：モード選択



☆長く押す（約0.5～1秒）：画面背景色切り替え
緑色←→橙色

☆押し続ける（1秒以上）　：初期設定モード

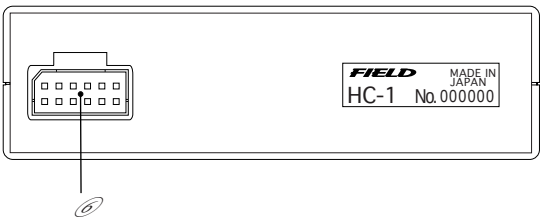
詳細はP12の初期設定をご覧下さい。
（セットスイッチで設定終了、通常表示に戻ります）

㈪セットスイッチ
各モードの設定を行うスイッチです。

㈫㈬ＵＰ／ＤＯＷＮスイッチ
各モードでの選択や設定値の変更等を行います。モードによっては、ＵＰスイッチがリセットスイッチになります。

㈭センターディスプレイ
動作モードの選択により、エンジン回転数、スピード、0-400m計測データ、ストップウォッチ、時計、トリップ計測データなどを表示します。

リアパネル部



㈮HYPER COUNTER専用ハーネス接続コネクター
付属のHYPER COUNTER専用ハーネスを接続するコネクターです。

機能と特徴

キャラクターモード

・お客様が任意に、最大16個までのキャラクター（アルファベット、数字、記号）を入力する事が出来ます。
・入力された文字は、一定のスピードで流れて表示されます。

ｒｐｍモード

・回転数をリアルタイムに表示。（０～9900rpm）
・最大回転数（ピーク値）を記憶出来ます。
（表示は、Ｍａｘ　○○○○と表示。３秒後、オートリターンでリアルタイム表示へ戻ります）
・レブウォーニングとして、ブザーポイントを設定出来ます。設定値を超えると、ブザー音とともにウォーニング機能としてLCD表示が赤色に変化します。

ＳＰＥＥＤモード

・スピードメーター表示。（０～999Km／h）
・最大スピード（最高速）を記憶出来ます。
（表示は、Ｍａｘ　○○○○と表示。３秒後、オートリターンでスピードメーターに戻ります）

0ー400mモード

・０－100、200、400mの通過タイムと速度をそれぞれ計測。
・０－100Km／h通過時のタイム計測。
・タイム計測は、00”00”00表示で最大59”59”99（59分59秒99）まで測定可能。
・０－４ＥＮＤ！で計測終了を表示。
・途中で計測を中止した時も計測出来ているデーターはメモリーされ、計測出来なかった箇所はケイソクフノウと表示されます。

ストップウォッチモード

・ストップウォッチ機能として使用出来ます。スタンバイ状態時、ＳＴＯＰ－Wと表示され、スタート後、最大59”59”99（59分59秒99）まで計測出来ます。

時計モード

・時計として使用出来ます。
・表示方法は、12 時間制、24 時間制、どちらとも選択出来ます。

トリップモード

・トリップ計測。(加算側、100m刻みで最大9999.9Kmまで計測出来ます。)
・減算トリップ計測。(減算側、メンテナンス等にご使用頂けます。)最小100Km～最大9900Kmまで距離設定が出来ます。設定距離を過ぎると、LCD 表示が赤色に変化し警告します。
(どのモードについても、表示部の色が変わって警告します)
・減算トリップ時は、通常使用状態の LCD 表示部と違う色で表示します。
(通常緑色で使用なら橙色、橙色で使用なら緑色と反転します)
・減算トリップは、OFF する事も出来ます。

その他

・スピードリミッター解除機能。(一部の車種を除きます)
・LCD 表示部、２モード切り替え機能。(LCD 表示部を緑色、橙色の２色から任意に選択する事が出来ます)
・レブウォーニングや、減算トリップ終了時等、警告表示の場合、LCDが赤色に変わります。
・軽自動車からＧＴ－Ｒまで幅広い車種に対応。

配線方法

HYPER COUNTER専用ハーネスと車種対応表、配線図を用意して下さい。
※取り付け作業に入る前に、ドライバー、ニッパー、スパナ、圧着工具等を手元に用意しておくと、作業がスムーズに進みます。

接続手順

㈰エンジンを切り、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。
㈪車種対応表で、エンジンコンピューターの取付位置を確認した後、内張り等を外して HYPER COUNTER専用ハーネスとエンジンコンピューターとの配線作業がしやすい様にエンジンコンピューターを露出させて下さい。

HYPER COUNTER専用ハーネス配線

㈫ HYPER COUNTER専用ハーネスの６本の線は、配線図を参照してエンジンコンピューターより出ている各相当配線に各々割り込み接続して下さい。

●黄線‥‥常時電源
エレクトロタップによりエンジンコンピューター配線の常時電源線に割り込み接続して下さい。

車種によってはエンジンコンピューターに常時電源がきていないので、適所より常時電源を確保して下さい。

●赤線‥‥ＩＧ電源接続
エレクトロタップによりエンジンコンピューター配線のＩＧ電源線に割り込み接続して下さい。

●緑線‥‥回転信号接続
エレクトロタップによりエンジンコンピューター配線の回転信号線に割り込み接続して下さい。

●茶線‥‥スピードセンサーＩＮ側（センサー側）接続
エンジンコンピューター配線のスピードセンサー信号線を切断し、センサー側にギボシ端子メスを圧着し、ギボシ端子接続して下さい。

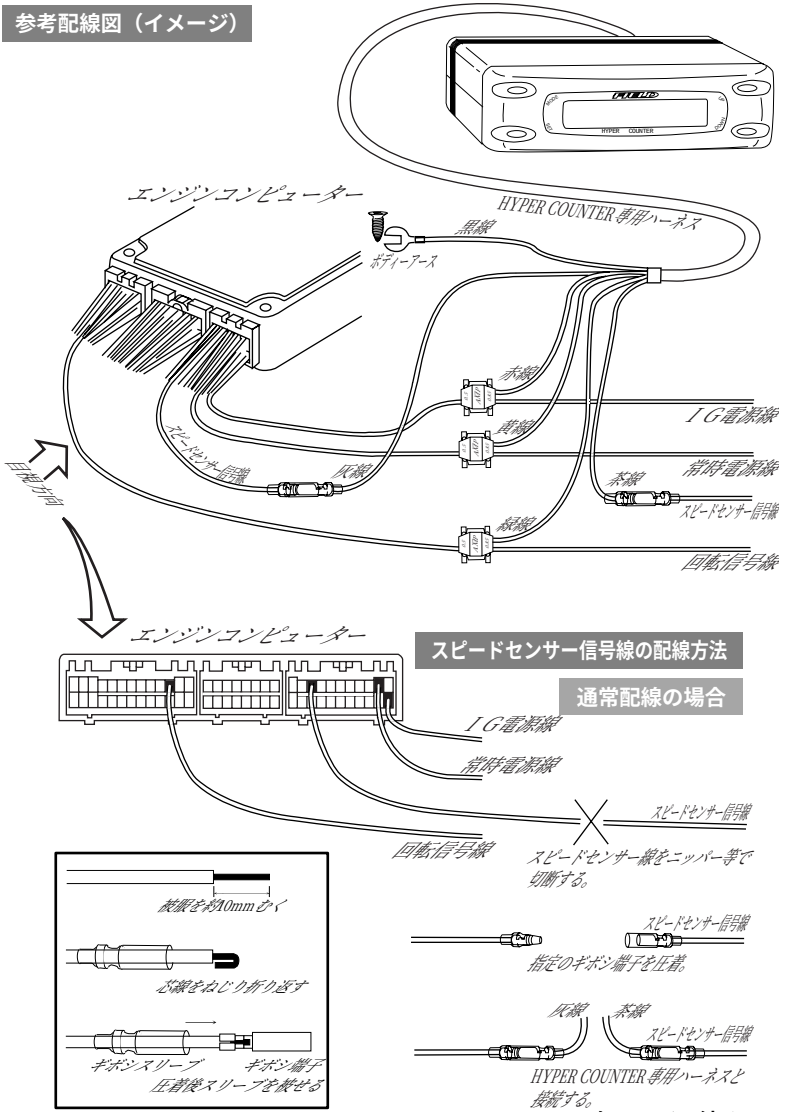
ＨＯＮＤＡ車：アコード・トルネオＣＦ４（ＡＴ）・アコードワゴンＣＦ６，７・オデッセイＲＡ３，４はスピードセンサー信号線を切断せずに、エレクトロタップ等で茶線だけ割り込み接続して下さい。灰線は未接続のままにして下さい。Ｐ 10 の図「一部 HONDA 車の場合」参照。

●灰線‥‥スピードセンサーＯＵＴ側（エンジンコンピューター側）接続
エンジンコンピューター配線のスピードセンサー信号線を切断し、エンジンコンピューター側にギボシ端子オスを圧着し、ギボシ端子接続して下さい。

●黒線‥‥ボディーアース接続
ボディーアースのとれるコンピューターステー等に取り付けて下さい。

車種によってはエンジンコンピューターステーでアースのとれない場合があります。テスター等で確認出来れば確実です。

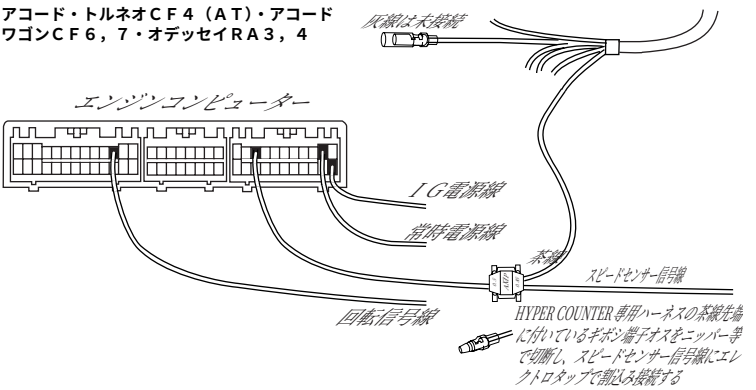
参考配線図（イメージ）

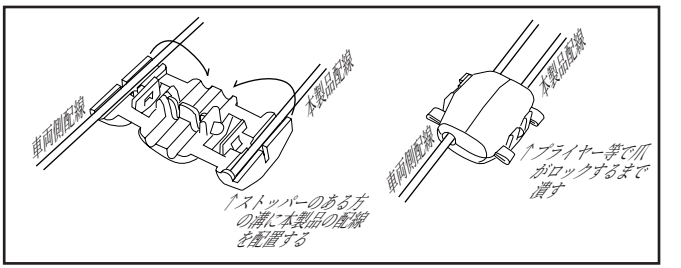


次ページに続く

一部ＨＯＮＤＡ車の場合

アコード・トルネオＣＦ４（ＡＴ）・アコード ワゴンＣＦ６，７・オデッセイＲＡ３，４





配線のショート等による、エンジンコンピュータ及び HYPER COUNTER 本体の破損を防ぐ為、配線を行う時は必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行って下さい。

ギボシ端子、エレクトロタップ等による接続不良、或いは配線ミスはエンジン不調や破損の原因となります。配線は車種対応表と配線図を随時確認しながら、確実に行って下さい。

㈱配線が完了したら、HYPER COUNTER専用ハーネスを HYPER COUNTER 本体に接続し、バッテリーのマイナス端子を取り付け、動作確認（Ｐ 11 の「動作確認」参照）を行って下さい。

㈱動作確認で、正常に動作している様であれば、外した内張り等を元に戻し、HYPER COUNTER本体を確実に固定して下さい。

HYPER COUNTER本体を設置・固定するにあたって、Ｐ２の「安全にご使用いただくために」を再度お読み下さい。

動作確認

動作確認は、初期設定を行っていないと、rpmモードやSPEEDモード等で正しい表示をしません。この項目では配線ミス等がないかをチェックします。

㈰**イグニッションキーをＯＮにして下さい。**
本製品のセンターディスプレイに、キャラクターモードの工場出荷時設定の「ＨＹＰＥＲ　ＣＯＵＮＴＥＲ　！！」の文字が流れます。
※何も表示されない場合は、ＩＧ電源線への配線ミスかエレクトロタップの接続不良、或いはアース線の接触不良で十分なボディーアースが取れていないことが考えられます。イグニッションキーをＯＦＦにしてから確認して下さい。

㈪**エンジンを始動させアイドリングを行なって下さい。**
エンジンチェックランプ等の警告灯が点灯していないことや、エンジンの調子に変わりがないことを確認して下さい。
※警告灯が点灯したり、エンジンの調子がおかしい場合は、ただちにエンジンを止めイグニッションキーをＯＦＦにしてからスピードセンサー信号線、回転信号線、常時電源線等への配線が間違っていないか確認して下さい。

㈫**モードスイッチを１回短く（約0.5秒以内）押して下さい。**
rpmモードになり、エンジン回転数が表示されます。（初期設定を行なっていない場合は正しい回転数が表示されません。）
※アイドリング中にも係らずセンターディスプレイの表示が「000 rpm」の場合は、回転信号線への配線ミスかエレクトロタップの接続不良が考えられます。エンジンを止めイグニッションキーをＯＦＦにしてから確認して下さい。

㈬**モードスイッチを更にもう１回短く（約0.5秒以内）押してから、実走行して下さい。**
SPEEDモードになり、スピードが表示されます。（初期設定を行なっていない場合は正しいスピードが表示されません。）
※走行中にも係らずセンターディスプレイの表示が「0 km/h」の場合は、スピードセンサー信号線への配線ミスかエレクトロタップの接続不良が考えられます。エンジンを止めイグニッションキーをＯＦＦにしてから確認して下さい。

㈭**スピードモードのままエンジンを止め、イグニッションキーをＯＦＦにして下さい。**
本製品の電源が切れるのを確認して下さい。（イグニッションキーをＯＦＦにしても本製品の電源が切れるのに数秒かかる車種がありますが、異常ではありません。）
※イグニッションキーをＯＦＦにしても、本製品の電源が切れない場合は、ＩＧ電源線ではなく常時電源線に間違って配線されていることが考えられます。確認して下さい。

㈮**イグニッションキーを再度ＯＮにして下さい。**
スピードモードが表示されます。（前回ＯＦＦにした時の最後のモード）
※スピードモードが表示されなかった場合、常時電源線への配線ミスかエレクトロタップの接続不良が考えられます。イグニッションキーをＯＦＦにしてから確認して下さい。

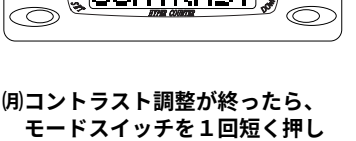
以上で動作確認は終了です。問題がなければ引き続き初期設定（Ｐ12の「初期設定」）を行なって下さい。また、どうしても問題解決出来なかった場合には、お買い上げ販売店、若しくは当社までお問い合わせ下さい。

初期設定

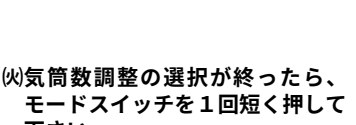
本製品に正しい表示をさせる為に、車種ごとの簡単な設定を行ないます。

スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

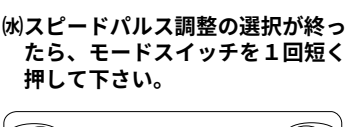
㈱モードスイッチを押し続けて下さい。初期設定モードに入ります。



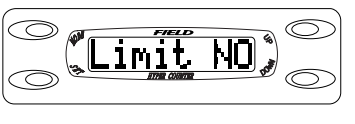
㈪コントラスト調整が終ったら、モードスイッチを１回短く押して下さい。



㈫気筒数調整の選択が終ったら、モードスイッチを１回短く押して下さい。



㈬スピードパルス調整の選択が終ったら、モードスイッチを１回短く押して下さい。



☆コントラスト調整
本製品を設置・固定した場所によっては角度的にＬＣＤ表示部（センターディスプレー）が見えにくい場合があります。
ＵＰスイッチ、ＤＯＷＮスイッチで適度に調整して下さい。（スイッチは押し続けると早くコントラストが変化します。）

☆気筒数調整
エンジン回転数（rpm）を正しく表示させる為に、エンジンの気筒数を設定します。
ＵＰスイッチを押して、「3・4・6・8」ｔｙｐｅの気筒数から選択して下さい。
注）気筒数がわからない場合は、P13の「設定の確認」をご覧下さい。

☆スピードパルス調整
スピードを正しく表示させる為に、スピードパルスの種類を設定します。
ＵＰスイッチを押して、「２・４」ｐｕｌｓｅから選択して下さい。
注）スピードパルスの種類がわからない場合は、P13の「設定の確認」をご覧下さい。

☆スピードリミッター解除の選択
ＵＰスイッチを押して、Ｌｉｍｉｔ「NO・1・2」から選択して下さい。
NO：リミッター解除せず
1：普通車でリミッター解除
2：軽自動車でリミッター解除

㈭スピードリミッター解除選択が終ったら、
モードスイッチを１回短く押して下さい。

☆減算トリップモード表示の有無を選択
UPスイッチを押して、Ｍａｉｎｔｅ
「○・×」から選択して下さい。
○：表示する
×：表示しない

㈮減算トリップモード表示の有無の選択が終ったら、「初期設定」の総べての設定が終了です。
セットスイッチを短く押して下さい。設定内容を保存し、初期設定モードが終了します。

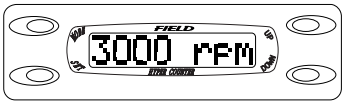
設定の確認

「初期設定」が正しく設定されたかを確認します。また、「気筒数調整」で気筒数が不明の場合、「スピードパルス調整」でスピードパルスの種類が不明の場合も、以下の方法により正しく表示されるまで、各選択項目を繰り返し選び直して下さい。

rpmモード

エンジンを始動させた後、HYPER COUNTERをrpmモードにし、空吹かしして下さい。車両側のタコメーターとHYPRE COUNTERの表示が一致すれば気筒数調整は正しく設定されています。車のタコメーターとHYPRE COUNTERの表示が一致しない場合は、「初期設定」の気筒数調整を一致するまで繰り返し選び直して下さい。

車両側タコメーター

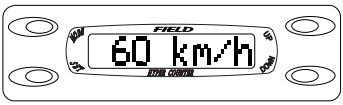


注）高回転になると車両側タコメーターとHYPRE COUNTERの表示に若干誤差を生じる場合がありますが、異常ではありません。

SPEEDモード

HYPER COUNTERをSPEEDモードにし、実走行して下さい。車のスピードメーターとHYPRE COUNTERの表示が一致すればスピードパルス調整は正しく設定されています。車のスピードメーターとHYPRE COUNTERの表示が一致しな場合は、「初期設定」のスピードパルス調整を選び直して下さい。

車両側スピードメーター



注）車速が上がると車両側のスピードメーターとHYPRE COUNTERの表示に若干誤差を生じる場合がありますが、異常ではありません。

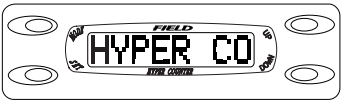
キャラクターモードの使い方

キャラクターモードは、96 種類のキャラクター（アルファベット、数字、記号）の中から最大16個までのキャラクターを自由に選択し、入力することが出来ます。そしてその入力されたキャラクターパターンはセンターディスプレイに一定のスピードで繰り返し表示されます。

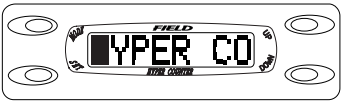
スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

入力方法

㈰モードスイッチでキャラクターモードに切り換えて下さい。（工場出荷時の設定は「ＨＹＰＥＲ ＣＯＵＮＴＥＲ　！！」が入力されています。）

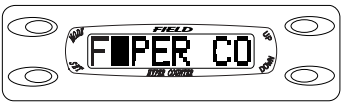


㈪セットスイッチを長く押して下さい。入力部分が点滅し入力モードになります。



㈫ＵＰスイッチ、ＤＯＷＮスイッチで入力するキャラクターを選択します。
ＵＰスイッチは「キャラクター一覧表」の上方向から、ＤＯＷＮスイッチは下方向から順にスクロールします。
（ＵＰスイッチ、ＤＯＷＮスイッチは押し続けると高速スクロールします。）

㈬任意のキャラクターが決まったらモードスイッチを１回短く押して入力位置を１つ右送りします。
また、入力位置を１つ左に送る（戻す）場合はセットスイッチを１回短く押して下さい。

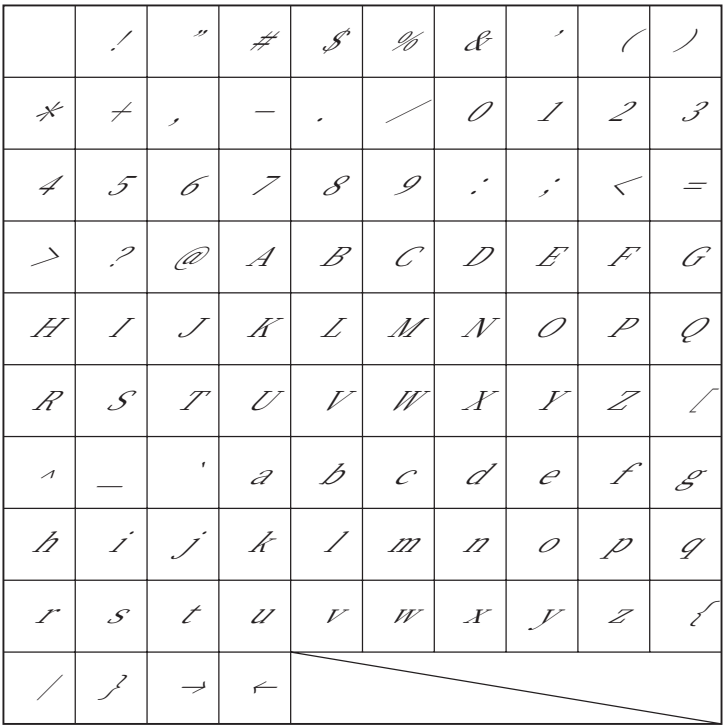


㈭任意のキャラクターが総べて入力し終るまで㈫、㈬を繰り返し行なって下さい。

㈮任意のキャラクターが総べて入力し終えたら、セットスイッチを長く押して下さい。
設定したキャラクターパターンをメモリーに登録すると同時に、センターディスプレイに入力されたキャラクターパターンを繰り返し流れ表示します。

キャラクター一覧表

UPスイッチスクロール方向



DOWNスイッチスクロール方向

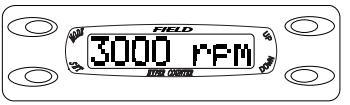
ｒｐｍモードの使い方

ｒｐｍモードは、タコメーター機能の他、最高エンジン回転数を確認することの出来るピークホールド機能を搭載しております。
また、ブザーポイントを設定することにより、シフトポイントやＲＥＶポイントをブザー音と表示部の赤色変化によって確認出来る機能も搭載しております。

スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

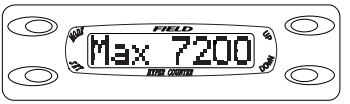
リアルタイムモード

モードスイッチでrpmモードに切り換えて下さい。
現在のエンジン回転数を100rpm刻みでリアルタイムに表示します。



ピークホールド機能

セットスイッチを１回短く押して下さい。ピークホールド（最高エンジン回転数）を表示します。
ピークホールド表示は約３秒後にオートリターン機能によりリアルタイムモードに復帰します。



※ピークホールドのリセットは、ピークホールドが表示されている間に、ＵＰスイッチを１回短く押して下さい。

ブザーポイント設定

㈰セットスイッチを長く押して下さい。「Ｓｅｔ　９９００」と点滅表示され、ブザーポイントを100rpm刻みで入力出来る状態になります。

「Ｓｅｔ　９９００」は初期設定値です

㈪ＵＰスイッチ、ＤＯＷＮスイッチで任意の数値を設定して下さい。
（数値を設定しないと約３秒後にオートリターン機能によりリアルタイムモードに復帰します。）

㈫セットスイッチを１回短く押して下さい。設定を保存し、リアルタイムモードに戻ります。

※設定したブザーポイントを過ぎると、警告音（ピーーー）が鳴ると同時に表示部は赤色に変化します。
これら警告音・警告表示は全てのモード中においても有効となります。

ＳＰＥＥＤモードの使い方

ＳＰＥＥＤモードは、スピードメーター機能の他、サーキット等での最高速度を確認することが出来るピークホールド機能も搭載しております。

スイッチの表記

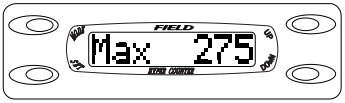
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

リアルタイムモード

モードスイッチで SPEEDモードに切り換えて下さい。
現在のスピード（車速）を最大999km/hまでリアルタイムに表示します。

ピークホールド機能

セットスイッチを１回短く押して下さい。ピークホールド（最高速度）を表示します。
ピークホールド表示は約３秒後にオートリターン機能によりリアルタイムモードに復帰します。



※ピークホールドのリセットは、ピークホールドが表示されている間に、ＵＰスイッチを１回短く押して下さい。

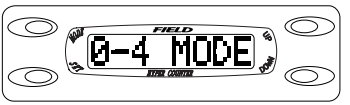
0ー400mモードの使い方

0-400mモードは､0～400mを走行した時の走行データを確認することの出来るモードです。計測方法は車速を感知したオートスタート＆オートストップ方式なので､簡単且つ安全に計測出来ます。また､400mを走行出来ない場合でも､100m或いは200m迄の計測データは記録されます。

スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

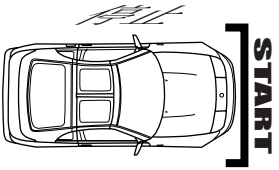
計測スタンバイ

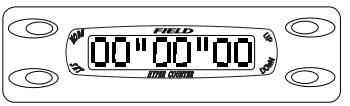
モードスイッチで0-400mモードに切り換えて下さい。



走行中は「スタンバイ待ち」状態

車速が0 km/h（停止）になり次第､自動的に計測スタンバイとなります。

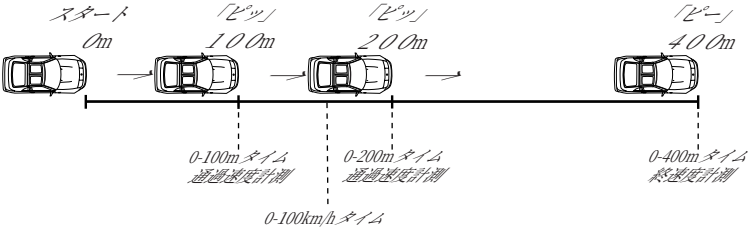




停止で「スタンバイ」状態

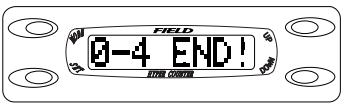
計測開始

スタート（走行）と同時に車速を感知して計測が始まります。



計測終了

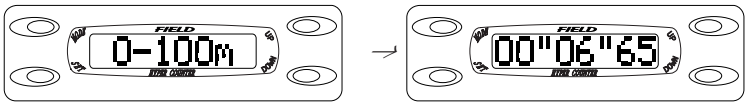
400mを走り切るか､若しく減速を感知すると自動的に計測を終了します。



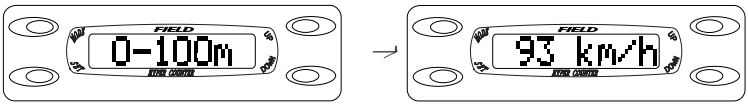
計測データの確認

計測終了後、セットスイッチを短く押すごとに、以下の順で計測データが表示されます。

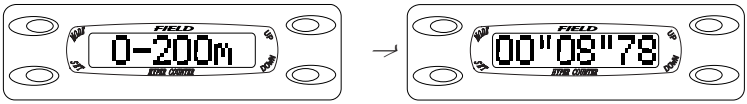
①0－100mタイム



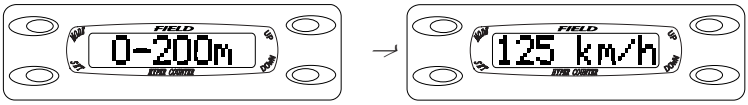
②0－100m通過速度



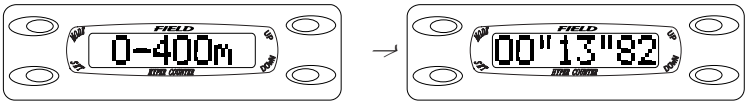
③0－200mタイム



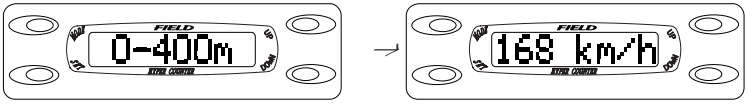
④0－200m通過速度



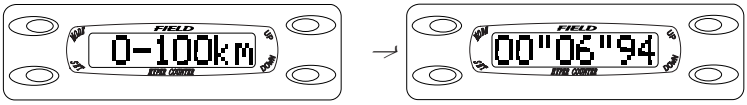
⑤0－400mタイム



⑥0－400m通過速度



⑦0－100km／h到達タイム



㈱計測スタンバイ状態に戻ります。

次ページに続く

0-100km/hタイム(±)迄表示されたところで、再びセットスイッチを１回短く押すと、停止している場合は、計測スタンバイ（00”00”00）となり、走行している場合は、スタンバイ待ち（０ー４　ＭＯＤＥ）となります。

計測データは、一度確認するとデータを消去し、再び同じ計測データを見直すことが出来ません。計測データの保持や比較をする場合は必ず計測データのメモを取る様にして下さい。

計測終了後（0-400 END表示）、計測データを確認する前に他モードに切り換えてしまうと計測データは消去してしまうので、ご注意下さい。

※400mを走り切らずに、途中でブレーキなどで減速をした場合、その時点で自動的に計測を終了します（減速判定機能）。そして、計測出来た部分（例えば0-100mタイムや0-100m通過速度等の計測データ）は、「計測データの確認」で通常通りデータを表示しますが、計測出来なかった部分に関しては「ケイソクフノウ！」と表示されます。

タイヤの外径が標準サイズより小さい場合、計測タイムは速くなります。
タイヤの外径が標準サイズより大きい場合、計測タイムは遅くなります。

0-400mの計測データの確認は、走行中には危険ですので絶対に行わないで下さい。

ストップウォッチモードの使い方

ストップウォッチモードは、最大59分59秒99までの時間を計測することが出来ます。

スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

操作方法

「スタンバイ」状態

㈰モードスイッチでストップウォッチモードに切り換えて下さい。

㈪ＵＰスイッチを１回短く押すと時間の計測を開始します。
ＵＰスイッチを更にもう１回短く押すと時間の計測を停止します。
（ＵＰスイッチを１回短く押す度に、スタートとストップを繰り返します。）

㈫ＤＯＷＮスイッチを１回短く押すと計測した時間をリセットし、ストップウォッチモードのスタンバイ状態に戻ります。

ストップウォッチモードでは、計測途中で他モードに切り換えてしまうと、計測中止とみなし、それまで計測していたデータを消去してしまいます。重要な計測の場合は、他モードに切り換えない様にして下さい。

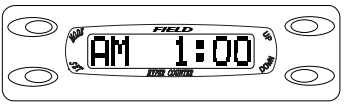
時計モードの使い方

時計モードは、12時間制表示と24時間制表示の２種類の表示方法が選択出来る時計です。時報合わせの出来るジャストクロック機能も搭載しております。

スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

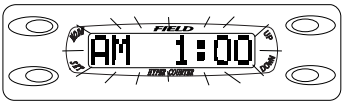
時計表示

モードスイッチで時計モードに切り換えて下さい。
時刻を表示します。



時計設定

㈰セットスイッチを１回長く押して下さい。
表示が点滅します。



㈪ＵＰスイッチを押して「時」を調整します。（短く押せば１時間づつ、押し続ければ早く時間が進みます）

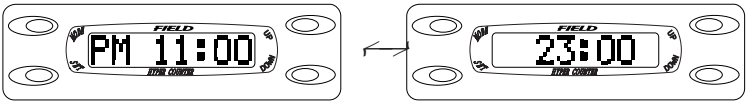
㈫ＤＯＷＮスイッチを押して「分」を調整します。（短く押せば１分間づつ、押し続ければ早く分数が進みます）

㈬時刻を合わせ終えたら、セットスイッチを１回短く押して、時刻設定を決定・終了します。このとき秒数は00秒から進み始めます。

※時計モードには、「時刻設定」以外に普通に時刻が表示されている状態で、時報に合わせてセットスイッチを１回短く押し、秒数だけを00秒から再スタートさせるジャストクロック機能も搭載しております。

表示切換

普通に時刻が表示されている状態で、ＵＰスイッチを１回短く押すと12時間制表示、ＤＯＷＮスイッチを１回短く押すと24時間制表示になります。



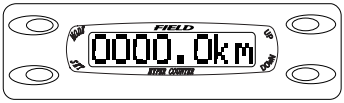
トリップモードの使い方

トリップモードには、走行距離を100m刻みで最大9999.9kmまで計測出来る加算トリップ計測と、最小100km～最大9900kmまで距離設定の出来る減算トリップ計測の２モードあります。減算トリップでは、設定した距離に達すると表示画面を赤色変化させて警告する機能も備えております。

スイッチの表記
短く押す　：約0.5秒以内
長く押す　：約0.5～1秒
押し続ける：1秒以上

加算トリップモード

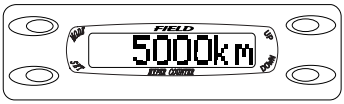
モードスイッチでトリップモードに切り換えて下さい。
加算トリップモードが表示されます。



※ＵＰスイッチを１回短く押すと加算距離をリセットすることが出来ます。

減算トリップモード

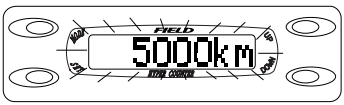
加算トリップモードが表示されている状態で、セットスイッチを１回短く押して下さい。
背景色が変わり、減算トリップモードが表示されます。（背景色は通常緑色で表示している場合は橙色に、橙色で表示している場合は緑色に変わります。）
また、加算トリップモードと減算トリップモードはセットスイッチを短く押す度に、交互に切り替わります。



初期値「5000km」

数値設定

㈰セットスイッチを１回長く押して下さい。
「5000km」表示が約３秒間点滅します。



㈪表示が点滅している間にＵＰスイッチ、ＤＯＷＮスイッチで任意の数値を入力して下さい。

㈫任意の数値を入力し終えたら、セットスイッチを１回短く押すか、若しくは

約３秒後の点滅が終わるのを待って下さい。
設定が完了し、減算トリップ計測を開始します。

減算トリップモードを必要としない場合は、「初期設定」（P 12）に於いて、減算トリップモード表示の有無の項目で「Ｍａｉｎｔｅ　×」を選択して下さい。

減算トリップモードは、他のモードの如何なる状態にあっても、設定した距離に達すると、その実行中のモードの表示部（センターディスプレー）の背景色を赤色に変化させ警告します。赤色の背景色を解除するには、減算トリップモードに切換え、再度「数値設定」を行なって下さい。

その他の機能

スピードリミッター解除機能

初期設定（P 12 参照）においてスピードリミッター解除を選択すると、一部の車種を除いて、スピードリミッターを解除します。

背景色切換え機能

モードスイッチを長く押すことによって、ＬＣＤ表示部（背景色）を緑色と橙色に切換えることが出来ます。

サービス（修理）を依頼される前に

故障と思われる前に調整や取り扱い方、或いはハーネスの接触不良などをお調べ下さい。なお異常がある場合は、お買い上げ販売店または当社まで症状等を記したメモを添えて、修理をご依頼下さい。また、その他ご不明な点がございましたら当社までご相談下さい。

保証・アフターサービスについて

◇本書裏表紙の製品保証書はよくお読み下さい。
保証期間はお買い上げ日から１年です。
保証書は、「お買い上げ日」欄、「販売店名」欄等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。

◇あらかじめご了承頂きたいこと
修理のとき、一部代替品を使わせて頂くことや、修理に代わって同等品と交換させて頂くことがあります。

◇アフターサービスについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせ下さい。